

いずみの園だより

vol. 70
夏季号
2017.9.4



信望愛

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。 コリントの信徒への手紙 I13:13

基本理念

神と人ともに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

題名

「おもしろい、すばらしい、ふしぎな空のような、星のような宇宙」2016
宇宙には星と空のようなふしぎな世界なので虹、花、火、流星ですばらしくいろいろな色、形、イメージのわく星でおもしろく皆もいかにんじです。



いずみの園ワークセンターシャローム ご利用者の作品

評議員就任にあたって



九州キリスト教社会福祉事業団
評議員
中津商工会議所 名誉会頭

安藤 元博

「公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する。」この度施行された社会福祉法人制度改革の冒頭に記載されている文言です。

もとより『いずみの園』は社会福祉法人としての公益性、非営利性等は当然のこと、地域社会貢献についても先端的に実践され、大きな実績を残されている社会福祉法人です。地域に長年住む者として私の誇りとする法人、施設であります。この度の制度改革に際し、荣誉ある法人の評議員にご指名を受け、思いを新たにしているところであります。

来年、施設開設四十周年を迎えられるとお聞きしました。その長い歴史の実績とご苦労に改めて敬意を表するものであります。特に、最近の充実した事業の展開は目覚ましく、福祉介護の分野のみならず、経済、文化等多方面に大きな影響力を発揮され、地域に果たされている社会貢献は目を見張るものがあります。

その言動力は、理事長の先見性と行動力等々にあることは言うまでもありませんが、理事長ご自身はいずみの園の魅力は「職員力」と「地域力」といわれています。私はそれに「利用者、家族の力」をつけ加えたいと思います。

いずみの園の質の高い良いサービスを受けた利用者、家族は、その時からいずみの園の身内のように、サービスが如何に良かったかを周囲に伝えていくことになるのです。大きないずみの園の力になっていると思います。

「職員力」「地域力」「利用者力」等、様々な力が働きあつて、いずみの園は今後もさらに魅力のある施設として発展していくことでしょう。私もその一員として微力ながら関わらせて頂き、お役に立てればと願っています。

2017年度定時評議員会と 第3回理事会が行われました。

〈2017年度定時評議員会〉

改正社会福祉法が本年4月1日に施行されて、初めての定時評議員会が6月24日(土)11時から「いずみ館」で行われました。

議長選出の後、理事長から2016年度の事業報告がされ、次に審議議案として、第1号審議事項の「2016年度決算及び監査報告」に関する件につき全員の承認、第2号の「理事・監事の任期満了に伴う選任(案)に関する件」につき、全評議員の承認で決議、再任されました。

また、法人本部事務局より法人の事業活動として、①女性活躍推進法に基づき計画進捗状況、②4月に開所し



滝口評議員



古川評議員

(評議員2名、前号でお知らせできなかったため)

た「中津市障がい者等基幹相談支援センター」の委託事業、③赤ちゃん、の駅への登録、④ひとり暮らし高齢者事業、⑤九州老人福祉

施設職員研究大会への参加等についての報告が行われ、質疑の後12時15分終了しました。



評議員会の様子

〈2017年度第3回理事会〉

引き続き、同日13時から定時評議員会で再任された役員による2017年度第3回理事会が開催されました。

第1号議案として「理事長の選定に関する件」として理事全員の賛成



新役員(松本理事、武下監事の両氏は当日欠席)

により富永健司理事長が再任されました。続く第2号議案として「規程改正に関する件」が承認され、報告事項として「次世代職員育成講座の取組」につき事務局報告がされ、新任期へ2019年度定時評議員会までの執行部体制がスタートしました。

(法人本部事務局)

役職	氏名	職業
理事長	富永 健司	中津総合ケアセンターいずみの園総合施設長 大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会会長
理事	多田 玲子	日本キリスト教保育所同盟 副理事長
理事	松本 新子	長崎キリスト教友愛学園友愛社会館 理事長
理事	有馬 健	法人本部事務局長
理事	市川 朋克	特別養護老人ホームいずみの園 施設長
理事	谷口 弘美	中津総合ケアセンターいずみの園 在宅サービス事業部長
理事	堂本 高雄	中津総合ケアセンターいずみの園 総務部長
理事	島田 晋	NPO 環境保全技術研究所理事長 めぐみ保育園園長
理事	廣安慎太郎	中津教会牧師 グレース保育園園長
監事	金枝 豊治	社会福祉法人やまやま福祉会 理事長
監事	武下 英二	特定非営利活動法人 福祉の里なかつ応援隊 理事長

社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団の 社会福祉法に基づく情報公開について

2017年4月1日に施行された改正社会福祉法において、社会福祉法第59条の52に基づき、事業運営の透明性向上を図るため、情報の公開が求められています。

閲覧対象書類

- ・定款
- ・事業報告書
- ・財産目録※
- ・貸借対照表
- ・収支計算書(事業活動計算書・資金収支計算書)
- ・監事の意見を記載した書面
- ・事業の概要その他厚生労働省で定める事項を掲載した書類(現況報告書※)

※財産目録・事業の概要その他厚生労働省で定める事項を掲載した書類(現況報告書)については、現在所轄庁と調整中であり、結論が出次第、当ホームページに掲載いたします。

当法人として7月から上記書類を、当ホームページに掲載しています。

・法人定款は、当ホームページの「理事長あいさつ 法人について」のページの「法人定款」からご覧になれます。

・事業報告書・貸借対照表・収支計算書・監事の意見を記載した書面は、当ホームページの「理事長あいさつ 法人について」のページの「業務財務情報」からご覧になれます。

中津総合ケアセンターいずみの園 組織変更について

2017年4月1日より、共生サービス事業部相談支援課に

「中津市障がい者等基幹相談支援センター」

「障がい者生活支援センター エマオ」

「中津市地域活動支援センター（I型）リアン」の3事業所が加わりました。



人事関係

2017年4月2日以降

① 新採用

4月10日付	樋口 香恵	ワークセンターシャローム	職業指導員
4月17日付	中西 妙子	訪問介護課	ヘルパー
4月21日付	早田 聡子	デイサービスかきぜ	介護員
5月1日付	添田 忠寿	寄り合いセンターいずみ	介護員
	小野 早苗	デイサービスふれあい館	介護員
	大江マリ子	介護保険サービスセンター	介護支援専門員
	自在丸照美	介護課	介護員
5月6日付	武本 英彦	介護課	介護員
5月9日付	工家 寿子	訪問介護課	ヘルパー
5月15日付	宮垣 美穂	訪問介護課	ヘルパー
	岩久かおり	聖愛ホーム	栄養士

6月1日付	細川 顕照	中央サポートセンター	介護員
7月1日付	秋満 恵	グループホームペテルハウス	介護員

② 異動

5月1日付	山田 大輝	デイサービスふれんど館	生活相談員
6月1日付	粉 利治	デイサービスふれんど館	介護員
	原田日登美	デイサービスふれんど館	介護員
	高藤 直樹	グループホームペテルハウス	介護員
7月1日付	樋口 香恵	いずみの丘エステル	生活支援員
	曾我 由美	ワークセンターシャローム	職業指導員

(以上2017年7月31日まで)

2017年度「中津総合ケアセンターいずみの園」事業計画重点事項

経営企画室	①新事業の企画立案と既存事業の安定的・継続的実施への分析 ②「人材確保関連具体化検討チーム」の最終年度の仕上げ ③創立40周年記念事業の準備	訪問介護課	①人材の育成 ②ICT化による作業効率の向上 ③地域貢献
総務部		地域公益課	①「おおいたくらしサポート事業」推進 ②生活困窮者への側面支援
総務課	①事務の効率化・スピードアップ ②安全でおいしい食事の提供	地域包括支援センター	①地域ケア会議 ②オレンジカフェ ③孤立ゼロ
経理課	①予算執行のフィードバック ②マリアガーデンからの情報発信	介護保険サービスセンター	①癌末期・特定疾患の受け入れ ②分所の開設
チャプレン室	①創立の精神を学び業務に生かす ②メンタルヘルス計画	共生サービス事業部	
人材育成・研修センター	①実務研修受講者確保 ②介護福祉士国家試験受験への支援	相談支援課	①市障がい者等基幹相談支援センター(新事業)の円滑な実施 ②地域活動支援センター(I型)(新事業)の普及啓発の実施
ケアハウス事業部		就労支援事業課	①就労継続事業の作業先開拓と新種目の開発(A型) ②出勤率向上(B型) ③利用者の安定・ケアの確立(生活介護)
聖愛ホーム	①入居者のADL低下・重度化に即応出来る体制の強化 ②地域との連携強化	かきぜサポートセンター	
いずみの森	①心身機能の維持向上の機会提供 ②環境整備	訪問看護課	①急性期・終末期の方の安全・迅速な受け入れ ②人材の育成
特養事業部		デイサービス課	①利用者確保・経営の安定 ②地域のよりどころとしての役割
相談課	①ユニット単位・家族交流会の実施 ②社会的長期入院患者の支援研究	児童サービス課	
介護課	①人材育成・次世代リーダーの育成 ②介護の質の向上・外部研修参加	児童発達支援・放課後等デイ	①地域との交流促進 ②障がいへの理解と専門性向上 ③従たる事業者の設置検討
看護課	①看取りケア体制の充実 ②認定特定行為業務従事者フォローアップ研修の実践	子育て支援センター	①支援拠点としての周知 ②地域に向くサポート実施
リハビリ課	①栄養サポート委員会の活動強化 ②地域、在宅への専門職派遣	児童クラブ	①共生型としての健全育成 ②保護者との信頼構築・連携強化
在宅サービス事業部		寄り合いセンター	
ふれんど館	①中重度対応サービスメニュー検討 ②職員の介護技術向上への研修	小規模多機能型 居宅介護・看護	①専門性のある人材確保 ②適正利益の確保 ③医療との連携強化
ふれあい館	①認知症利用者へのサービスの充実 ②地域運営推進会議の内容再考	かきぜグループホーム	①サービスの質の向上 ②専門性の高い育成 ③アクティビティの充実と生きがいの創出
ペテルハウス	①認知症の専門知識・技術の向上 ②地域運営推進会議の内容再考		
中央サポートセンター	①在宅生活維持へのサポート ②地域行事への参加		

40周年を迎える いずみの園の歩み

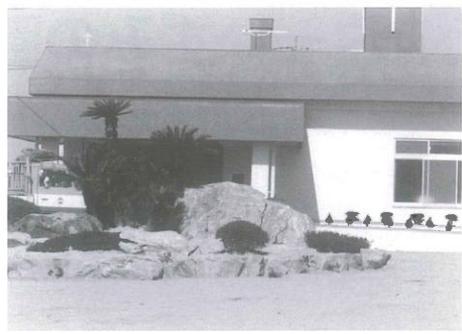
第1回

地域に感謝

1974(昭和49)年以降、中津市新瀬において「グレース保育園」(現在は市内大塚に移転)を開園していましたが、1978(昭和53)年4月10日、社会的に要請されていた老人福祉分野に事業を展開するため、特別養護ホーム「いずみの園」(定員50名)を新築し事業を開始し、来年4月で創立40周年を迎えます。

当時26名の職員で「いずみの園」はスタートし、現在、利用者の方は月延1500人(相談事業を除く)、職員365名となりました。地域の皆さんに感謝しつつ、これまでの歩みを5回シリーズで、写真を中心にふり返ります。

保育事業から
老人福祉分野へ
1978~1999



1978 昭和53年 いずみの園開所当時の外観



1981 昭和56年 当時の職員の様子



1986 昭和61年 特養大運動会



1992 平成4年 屋外にて食事会



1995 平成7年 食堂にて



1999 平成11年 当時の職員・ご利用者と花見



福祉のまちづくりへの取組

—生活しやすい中津づくり—

第1回：在宅サービス事業部

西暦2000年、「なかつ」はどんな街になっているのでしょうか。人々が安心して住める街、住みたくなる街、この様な点を良く考えながら、「豊か」で「住みよい」、「ゆとりのある」街づくりを考えていかなければなりません。

出典：『なかつのあゆみ』中津市教育委員会 1992年4月1日発行
[21、これからのなかつ]より抜粋

「いずみの園」は2013(平成25)年、保育・子育て支援事業、介護保険、障がいサービス事業を包括的に提供する「中津総合ケアセンターいずみの園」と名称を改めました。本年度の事業計画書にも『地域との連携・福祉のまちづくり』を重点目標に掲げ、「豊かさ」、「楽しさ」、「生活のしやすさ」のまちづくりに貢献する『中津総合ケアセンターいずみの園』の取組をこれから6回にわたり連載します。



地域の介護予防教室にて①

2000年ごろより地域の高齢者が集まる住民が主体とするサロンの立ちあげに伴い、「サロンに来た方の体調確認をするといよね」という話から、看護師が行くようになりました。サロンに出向き、血圧測定をおこない、そこから健康のチェック



中津市地域包括支援センターいずみの園
看護師 郡山奈緒美

介護予防、健康教室について



地域の介護予防教室にて②

をし、専門職として健康のサポートをしています。

また、年のせいかと思いがちですが、体を動かさないと、生活機能も低下します。生活の中で適度な運動を取り入れ、継続していくよう、大分県が推奨する自宅で自分のできる、筋力アップの体操「めじろん元氣アップ体操」の紹介や健康推進や介護予防の講話も行っています。そこから話しやすい環境ができ、馴染みの関係もでき、困りごとや介護の相談にもつながっています。今後とも地域の高齢者が集まる寄合の場に出向いたりして、地域を支える資源となれるよう取組みます。

中津市認知症コーデイネーター養成研修の取組



中津市地域包括支援センターいずみの園
認知症地域支援推進員 川上 央実

現在、高齢者の自動車運転や介護にまつわる様々な問題などテレビや新聞報道で認知症のことを耳にされない日はないのではないかと思います。認知症の人は550万人、世界でも類をみない、超高齢化社会の日本では、認知症対策は最も重要な課題の一つです。

現在、私は地域包括支援センターで高齢者の認知症支援を専門にした認知症地域支援推進員という職種で働いており、新オレンジプランの定着や地域の方へ認知症の正しい理解の普及啓発、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの取り組みとして、オレンジカフェや勉強会等の企画実施等に関わらせていただいております。また、認知症の方やご家族からの相談に関わる中で、認知症をとりまく支援やその対応には多職種のサポートが重要だと学びました。

そこで、2016年度より『中津市認知症コーデイネーター養成研修』をスタートしました。この研修では、医療的知識や認知症ケアなどの認知症支援に必要な内容を学ぶ機

会として、また、これから先認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの担い手や仲間づくりを目的としています。昨年度は医療介護関係者30名が受講を終了しています。コーデイネーターが地域での認知症支援の普及啓発、オレンジカフェ等及び勉強会を行うことで広く地域の方々へ認知症に対する理解を深めてもらい、認知症が進行しても、みんなが支え合い安心して暮らしていくことのできる環境づくりに寄与していきたいと思えます。

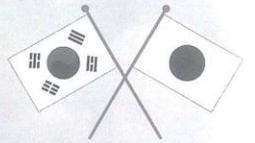


研修会場の風景

いずみの園

国際交流の取組

経営企画室 主任 富永 義道



『中津総合ケアセンターいずみの園』では、海外との交流に積極的に取り組んでおり、特に近年は、韓国との人材交流が盛んに行われています。

昨年7月から1年間、2名の韓国人がいずみの園でワーキングホリデーを利用して働いてくれていた他、今年の5月には韓国のデイサービスセンター職員の皆さん、6月には韓国国際大学の皆さん、7月にはスンシルサイバー大学の皆さんがいずみの園に見学に来られました。また今年の2月、それから9月に、ソウルにあるスンシル大学にて、いずみの園の職員が講師として講演を行いました。

当園の2017年度事業計画の「人材育成、人材確保対策」の中に



スンシルサイバー大学見学の様子①



スンシルサイバー大学見学の様子②



韓国国際大学見学の様子

「外国人人材の導入」との記述もあり、今後も積極的に交流を進め、相互の親交を深めていきたいと思えます。

次世代職員育成への取組

『中津総合ケアセンターいずみの園』では、2013年度から課長・主任を対象とした『中間管理職講座』を行ってきていますが、2017年度の当法人重点目標7項目の1つに「人材育成・人材確保対策—中間管理職講座、次世代リーダーの育成」を掲げました。



第1回講座の様子

それにそって、第1回次世代職員育成講座（入職3年以上、35歳前後の25人）を6月8日（木）14:00～15:30に開催しました。今後、年4回開催し、若手職員の一層の資質向上に力を入れていく方針です。

第1回は理事長から「当法人のこれまでとこれから」として講話があり、続いて法人本部事務局長から「社会福祉事業って何？」との基礎講義①があり、本講座がスタートしました。（経営企画室）

「いずみの園 孤立ゼロ事業の取組」が、新聞に取り上げられました。



大分合同新聞 2017年5月11日 夕刊

大分県中津市では、社会問題化する「孤立死」を防ごうと、2016年度から外部との関わりがないひとり暮らし高齢者を対象として「孤立ゼロ事業」を推進しています。

『中津市地域包括支援センターいずみの園』では、市よりの委託を受け、いずみの園近郊の地域の高齢独居世帯の見守り訪問を実施しており、その取組が大分合同新聞2017年5月11日夕刊の一面に取り上げられました。

在宅における高齢者を取り巻く問題は近年特に多様化し、また大きくなっていると考えられます。いずみの園でも、今回取り上げられた事業も含め、より一層これらの問題に適切に対応できるよう行動していきたいと考えています。

（中津市地域包括支援センターいずみの園）

介護ロボット導入について



特養事業部
リハビリ課
課長 高倉 哲也

『特別養護老人ホームいずみの園』では、昨年度より、「おおいた介護ロボット等導入促進事業」（事業主体・大分県社会活動介護研修センター）の一環である「介護負担軽減」を目的とした各種ロボットの研究に積極的に協力してきました。

2017年6月27日（火）、取扱事業所の方が来園し、「ロボットスーツHALICBO2」の試行をしました。「ロボットスーツHAL」は以前も試行した経緯（2016年10月～2017年2月使用）があり、今回は防水機能が新たに加わったタイプを、実際に入浴業務を行っている介護職員に装着してもらいモニタリングを行いました。



介護ロボットを装着している様子

精神的に進められており、今回のような「作り手」と「使い手」の意見交換が活発に行われてきています。今後も、人材確保・職場環境の改善のため、新たなロボットの導入・研究を継続していきます。

介護男子

vol.1

ここでは、いずみの園で働く男性職員を紹介します。彼らの働きぶりを通して、いずみの園の内側を少しでも知っていただければ幸いです。

介護男子
ナンバー01

永松 弦紀さん

特養事業部 介護課 介護員

年齢：20歳

入職：2017年4月

好きな食べ物：寿司、焼肉



ひとこと

まだ右も左も解らないような状態ですが、毎日楽しく働いています。



河野 英之さん

特養事業部 介護課 主任

年齢：35歳

入職：2010年11月

好きな食べ物：お好み焼



介護男子
ナンバー02

ひとこと

主任として、私が受け持つユニットで生活されるご利用者の日々の生活に留意し、安全・安楽に過ごして頂けるよう努めています。



編集後記

「夏は日向を行け、冬は日陰を行け。」

夏は暑い日向をあえて行き、冬は寒い日陰をあえて行って、身体を鍛錬せよ。あるいは、夏は日陰を冬は日向を他人に譲り、常に謙虚な気持ちでいること、という意味のことで、これは諺苑(げんえん)という江戸時代の国語辞書にあった言葉だそうです。「いずみの園だより」は今号で70号の節目を迎え、少しだけリニューアルいたしました。いかがだったでしょうか。これからも、いずみの園の情報を、楽しく紹介する冊子を目指して、夏は進んで日向を行くように、自ら汗をかいて努力し、冬も進んで日陰を行き、常に謙虚な気持ちを忘れず、記事編集に努めて参ります。

いずみの園の ルーツを探る

— 第1回 —



チャブレン
堤 健生

「この水を飲む者はたれでもまた渴く。しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。私を与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」
新約聖書ヨハネ福音書4章

当施設の名称「いずみ」の出所です。井戸端でイエス様と出会ってこの言葉を言われた女性は「その水を下さい」と言いました。この水はイエス様と出会って歩むところに湧き上がります。

前理事長故多田一三先生の奥様によりまして、まだまだ福祉事業が始まったばかりであった時、これからこの泉のように当事業団の働きが大きく地域に広がっていくものであるようにとの願いから名づけられたこのことです。

「九州老人福祉施設職員研究会」の発表で、「いずみの園」の職員が優秀賞と奨励賞を受賞しました

2017年7月13日(木)と14日(金)に、熊本市のホテル日航熊本にて開催された「平成29年度九州老人福祉施設職員研究会」の2日目に、行われた研究部会で、当園特養事業部介護課原田主任が「人が学び育つ職場環境を目指して」と題し、同部リハビリ課の南作業療法士が「経口移行への取組〜あの笑顔をもう一度〜」と題し、それぞれの部会で



表彰式 (南作業療法士)



発表中の様子 (原田主任)



左から南作業療法士、富永理事長、原田主任

研究発表を行いました。その結果、それぞれの分科会において原田主任は優秀賞、南作業療法士は奨励賞を受賞することができました。優秀賞を受賞した原田主任から「いずみの園の取組がこのよう形で認めて頂けたことがとても嬉しいです。」とコメントを頂きました。また、奨励賞を受賞した南作業療法士から「賞を頂けるとは思っておらず驚きました。協力してくれた皆さんに感謝です。」とコメントを頂きました。原田主任、南作業療法士本当にお疲れ様でした。(特別養護老人ホームいずみの園)

「中津市地域活動支援センター(I型)リアン」の取組

2017年5月22日に、「中津市地域活動支援センター(I型)リアン」が開所しました。地域活動支援センターとは、障がいがあっても地域の中で安心して生活できるように居場所の提供や相談、余暇活動、生活体験などの機会を提供する、中津市からの委託事業です。市内新瀬にある「いずみの園福祉の里センター サマリヤ館」で本事業を実施しています。平日は月・水・金の14時から17時、土曜日は10時から15時に開所しており、土曜日は茶話会や料理教室などの行事も行っています。



クッキングの様子



内覧会の様子

「リアン」とはフランス語で、「絆」を意味します。ご利用者同士や職員、地域の皆様との絆を意識し、全ての方が安心してくつろげる居場所を作れるよう、これから取り組んでいきます。(共生サービス事業部 相談支援課)

永眠者追悼記念礼拝が行われました。

8月9日(水)10時30分より「いずみの園」のご利用者で、この一年間にお亡くなりになられた19名の方の「永眠者追悼記念礼拝」が当園「地域交流ホームいずみ館」において行われました。ご遺族の方、特別養護老人ホームと聖愛ホームのご利用者、職員など、合わせて40名の方が参加されました。

司式は当園の堤チャプレンが行いました。はじめに参加者全員で讃美歌の合唱を行い、堤チャプレンにより創世記 23章1-6節の朗読、また「旅人であり寄留者である」と題して説教が行われました。その後祈禱、讃美歌合唱を行い、故人を偲び記念礼拝を終えました。最後に当法人理事長から、亡くなられた故人を偲んでの挨拶で追悼式を終りました。(特養事業部相談課)



会場の様子



司式を務められた堤チャプレン

予告

第19回いずみの園フェスタ開催

日時 10月14日(土) 午前10時～午後2時

会場 いずみの園 中津市永添2744



- 大正琴 琴好会
- 和風マジック大江戸ジュリ
- 大分県糸口学園 糸口太鼓
- フラダンス ハルフラYU教室
- 中津市民吹奏楽団
- よさこい踊り 大分舞華軍団おかみさんクラブ
- 琉球國祭り太鼓(大分支部)
- オカリナ同好会トトロ

- 屋台コーナー
- バザーコーナー
- わんぱくコーナー
- 健康・介護保険コーナー
- もちつきコーナー
- 顔写真入りカレンダー作成
- 小笠原古流茶会(茶席体験)

※イベント・ステージは変更になる場合があります。

